



特別号(平成 27 年 12 月 16 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難の事例をお伝えし、「安全登山のアドバイス」のきっかけとしていただくため、発行しています。

- ◇お客様と接する登山用品店店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会など

【年末年始の山岳遭難発生状況】

(平成 26 年 12 月 29 日～平成 27 年 1 月 3 日)

遭難 **6** 件 (うち死亡 **1** 人)

～山岳遭難は他人事ではありません、十分な準備と適切な判断が必要となります～

【遭難事例】

○ 12 月 31 日 北アルプス 燕岳 [山梨県 女性 **64** 歳 **死亡**]

遭難者は単独で合戦尾根を登山中、天候不良（吹雪）のため行動不能となり、救助要請。付近の山小屋から遭対協隊員が出動し発見したが、低体温症により心肺停止状態となっていた。遭対協隊員が付近の山小屋に収容後、県警へリで搬送。



【アドバイス】

低体温症は意識障害を伴うので、自分では対応が難しい場合があります。単独登山は避け、できるだけ経験者と行動しましょう。

天候や気温、積雪の状態によっては、行程に予想以上の時間がかかります。時間にゆとりを持ち、天候の悪化が予想される場合には、行動は控えましょう。

○ 12月31日 志賀高原**横手山**〔オーストラリア国籍 男性 36歳 無事救助〕

横手山スキー場外を滑走中、道に迷い、行動不能。遭対協隊員が夜間に捜索を行い、発見。無事に救助した。

○ 1月1日 ハヶ岳連峰**赤岳**〔神奈川県 男性 59歳 無事救助〕

単独で地蔵尾根を下山中、道に迷い、行動不能。パトロール中の県警救助隊員と遭対協隊員が発見、無事に救助した。

【アドバイス】

冬山登山は強靱な体力と経験、技術が必要となります。

○ 1月1日 北アルプス**五竜岳**〔東京都 男性 40歳 負傷（凍傷）〕

単独で遠見尾根を登山したが、悪天候のため行動不能となり、稜線上でテントを設営し2日間ビバーク後、強風によりテントが潰され、救助要請。翌日地上から県警救助隊員と遭対協隊員が入山し、遭難者を発見後、県警ヘリにより救助した。



【アドバイス】

冬の稜線は凍結している場合が多く、また冬型の天候が強まれば強風になり行動不能となります。入山前から現地の気象情報を収集、把握し、天候の悪化が予想される場合は、登山を控えましょう。

○ 1月2日 八ヶ岳連峰**横岳**〔東京都 男性**55**歳 負傷（凍傷）〕

単独で横岳付近を縦走していたが、日没のため道に迷い、稜線上でビバーク。その後、低体温症により行動不能となり、通りがかりの登山者が発見し、救助要請。

強風のため、地上から県警救助隊員と遭対協隊員が入山して、風の弱い地点まで搬送後、県警ヘリにより救助した。



【アドバイス】

冬山登山は強靱な体力と経験、技術が必要となります。

冬期の場合、疲労や強風の影響で低体温症となり死亡する危険性が高まります。低体温症は意識障害を伴うので、自分では対応が難しい場合があります。単独登山は避け、できるだけ経験者と行動しましょう。

○ 1月3日 大町市**小熊山**（標高1,302m）〔愛知県 男性**36**歳 無事救助〕

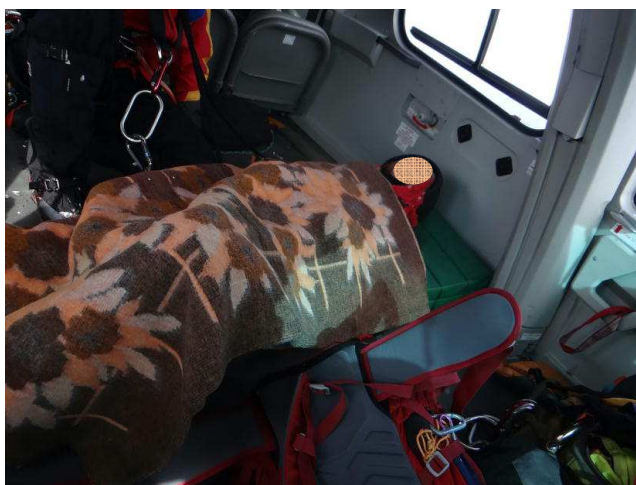
遭難者は単独で写真撮影のため入山したが、日没になり道に迷い、行動不能。県警救助隊員が捜索し遭難者を発見。同行下山した。



低体温症が大幅に増加

昨年の年末年始に発生した6件の遭難の内3件が強風や吹雪の中を行動し、低体温症に陥った事案でした。

冬山用の着衣、装備でも厳しい気象条件下では寒さに耐えられない場合があります。



* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-toursim@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。